

病院概要

総病床数	ICU(集中治療室)	18床	感染症病床	6床
479床	NICU(新生児集中治療室)	9床	急性期一般入院科(7対1)	394床
	高度救命救急センター	40床	緩和ケア	12床

理念 生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院

- 基本方針
- ・年中無休・24時間オープンで救急医療を提供します。
 - ・十分な説明と同意を心がけ、患者さんの意志を尊重した医療を提供します。
 - ・患者さんからの贈り物は一切受け取りません。
 - ・医療技術・診療態度の向上にたえず努力します。
 - ・患者さんの安全を常に考えながら医療を行います。
 - ・地域の医療機関との連携を密にして地域医療の発展に貢献します。
 - ・自分の家族にも受けさせたい医療を提供します。

【名称】医療法人 徳洲会 宇治徳洲会病院 【住所】〒611-0041 京都府宇治市横島町石橋145 【連絡】TEL:0774-20-1111 FAX:0774-20-2336 【開設】昭和64年12月【開設者】(医療法人徳洲会)理事長 長 壽一(管理書) 病院長 末吉 敦【病床数】479床【規模・構造】SRC構造・免震構造 地上10階 地下1階 延床面積本館・別館：54,600.45㎡ 臨床教育センター棟：5,149.69㎡

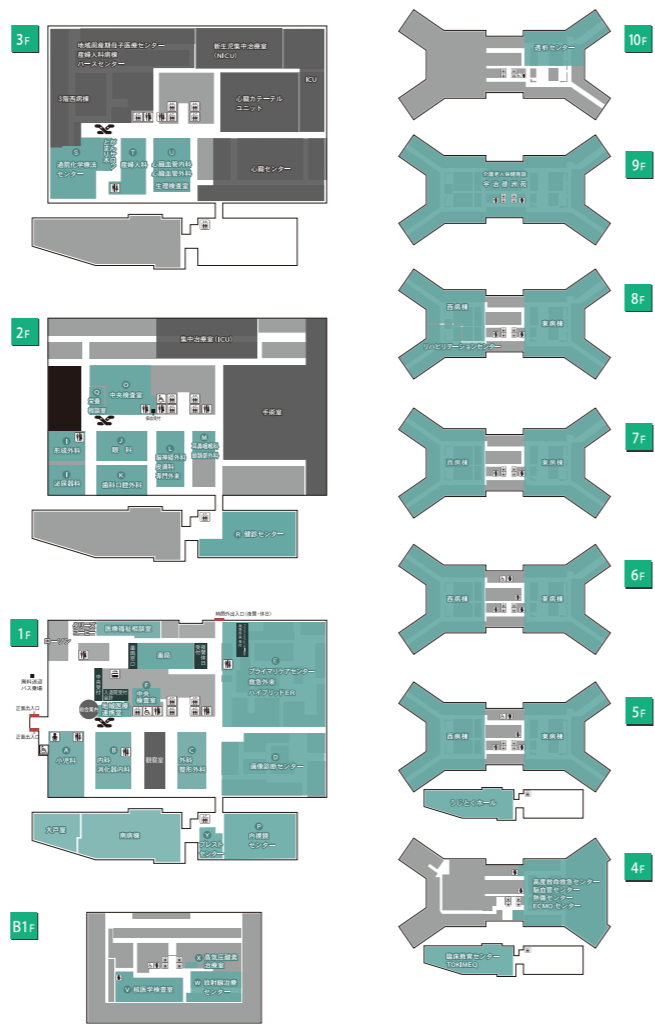
【指定】高度救命救急センター / 京都府災害拠点病院 / 地域がん診療連携拠点病院 / 地域周産期母子医療センター / 地域医療支援病院 / DPC特定病院群 / 第二種感染症指定医療機関 / 厚生労働省指定臨床研修指定病院(医師) / 厚生労働省指定臨床研修指定病院(歯科医師) / 母体保護法指定医師修習認定施設 / 京都府肝炎治療指定医療機関 / 経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設 / IMPELLA 補助循環ポンプカテーテル実施施設 / 経皮的留置弁置換不全修復システム実施施設 / 日本ステントグラフト実施基準管理委員会ステントグラフト実施施設(胸部) / 日本ステントグラフト実施基準管理委員会ステントグラフト実施施設(腹部) / 浅大動脈ステントグラフト実施施設 / 左心耳閉鎖システム実施施設 / 下肢静脈瘤に対する血管内療法の実施基準による実施施設 / 日本脊髄神経学会椎間板狭窄症介入療法実施施設 / キースパイク実施施設 / インプラント実施施設 / 日本臨床栄養学会代謝学会NST研修施設 / 日本神経経路栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設 / 日本臨床放射線学会施設 / エモグラフィ検査施設 / 画像認定施設 / 健康保険組合連合会指定 / 日帰り人間ドック実施施設 / UAセンター指定 / 日帰り人間ドック実施施設

【診療科目】内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、リウマチ内科、腎臓内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、心臓血管内科、人工透析内科、血液内科、小児科、外科、消化器外科、肝・胆・膵外科、こも門外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、耳鼻いんご科、頭頸部外科、皮膚科、眼科、産婦人科、放射線診断科、放射線治療科、ペインクリニック、疼痛緩和外科、緩和ケア内科、麻酔科(免頭券持)、歯科口腔外科、ハビリテーション科、救急科(救急総合診療科)、病理診断科、精神科

- 学会認定施設指定状況
- ・日本外科学会専門医制度研修施設
 - ・日本循環器学会循環器専門医研修施設
 - ・一般社団法人日本エコー学会認定エコー専門医研修施設認定証
 - ・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
 - ・日本心血管インターベンション治療学会研修施設
 - ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
 - ・日本消化器内視鏡学会指導施設
 - ・日本消化器外科学会専門医研修施設
 - ・日本消化器外科科連携施設(対象術式:腹腔鏡下肝切除術)
 - ・日本胃腸学会認定施設B
 - ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
 - ・日本腎臓学会認定指導施設
 - ・日本肝臓病学会高度技術専門医研修施設B
 - ・日本神経心臓血管外科専門医認定機構研修施設
 - ・日本呼吸器学会認定施設
 - ・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医認定関連認定施設
 - ・日本呼吸器外科学会基幹施設
 - ・日本乳癌学会関連施設
 - ・日本整形外科学会専門医研修施設
 - ・日本神経外科学会認定関連施設
 - ・日本脳卒中学会専門医研修教育病院
 - ・日本脳卒中学会 一次脳卒中センター
 - ・日本眼科学会専門医制度暫定研修施設認定
 - ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
 - ・日本形成外科学会認定施設
 - ・日本医学放射線学会専門医研修施設
 - ・日本周産期・新生児医学会(新生児)専門医補充認定施設
 - ・日本周産期・新生児医学会(母胎・胎児)専門医指定認定施設
 - ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
 - ・日本産科救急医学会 産科救急認定医・教育医制度認定施設
 - ・日本小児科学会専門医研修施設
 - ・日本小児科学会認定教育施設(教育関連施設)
 - ・日本麻酔科学会認定病院
 - ・日本心臓血管麻酔専門医認定施設
 - ・日本集中治療医学会専門医研修施設
 - ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
 - ・日本血液学会血液研修施設
 - ・日本病理学会研修登録施設
 - ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
 - ・日本緩和医療学会連合施設
 - ・日本口腔診断学会認定研修機関
 - ・日本口腔科学会研修施設
 - ・日本口腔内科学会研修施設
 - ・日本口腔外科学会認定研修施設
 - ・人間ドック健診専門医制度暫定研修施設

- 基幹施設
- ・内科専門研修プログラム
 - ・外科専門研修プログラム
 - ・小児科専門研修プログラム
 - ・麻酔科専門研修プログラム
 - ・救急科専門研修プログラム
 - ・総合診療科専門研修プログラム
 - ・整形外科専門研修プログラム
- 連携施設
- ・形成外科専門研修プログラム
 - ・産婦人科専門研修プログラム
 - ・脳神経外科専門研修プログラム
 - ・耳鼻咽喉科専門研修プログラム
 - ・眼科専門研修プログラム
 - ・泌尿器科専門研修プログラム
 - ・放射線科専門研修プログラム
 - ・病理診断科専門研修プログラム

施設MAP



UJI TOKUSHUKAI MEDICAL CENTER

- 高度救命救急センター
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 地域災害拠点病院
- 地域医療支援病院
- 第二種感染症指定医療機関



医療法人 徳洲会 宇治徳洲会病院 | UJI-TOKUSHUKAI MEDICAL CENTER 〒611-0041 京都府宇治市横島町石橋145 ☎0774-20-1111(代) ☔http://www.ujitoku.or.jp

■臨床教育センタートキメク

TOKIMEQ

2025年
6月
開設

TOKUSHUKAI Medical Education and Quest (探求)

TOKIMEQ(トキメク)は、当院が運営する、医療・介護・福祉に関わる全ての人のための教育施設です。私たちは、「Unity&Creation(協働と創造)」を理念に掲げ、地域医療や介護、福祉に関わるすべての職種が学び合い、連携を深める場を提供します。多職種が協働し、新たな知識や実践を生み出すことで、持続可能なより良い地域医療の未来を創造することを目指します。共に学び、共に創る—— TOKIMEQはその挑戦を支えます。

- 5F 学びとくホール
- 4F 臨床教育センターTOKIMEQ
- 3F 管理棟
- 2F 管理棟
- 1F 大戸屋 / 南病棟

NEWS
がほ
OOTOYA
外食チェーンの「大戸屋」が1日にオープン!

4F臨床教育センターで講習なども開催します



施設案内

■心臓センター



心臓血管内科では、重症冠動脈疾患の治療に必要なロータブレード、重症不整脈に対する埋込み型除細動器、重症心不全に対する心臓再同期療法等、最先端の治療を行っています。急性心筋梗塞(急性冠症候群)に対するカテーテル治療チームが24時間体制で院内待機しております。心臓血管外科では、人工心臓を使用しない冠動脈バイパス手術、僧帽弁形成術、小切開での低侵襲手術、経皮的ステントグラフト等最良の手術を提供しています。

■一次脳卒中コアセンター

24時間、365日救急疾患に対して脳神経外科医が対応出来る体制を整えており、迅速に適切な治療を行なえます。くも膜下出血、脳出血、脳梗塞(いわゆる脳卒中)や頭部外傷疾患に対して開頭手術や血管内手術を含めて最適な治療を行っています。また末破裂脳動脈瘤、頸動脈・頭蓋内動脈狭窄症などの疾患に対しても積極的に予防的治療に取り組んでいます。脳腫瘍には手術だけでなく、化学療法・放射線治療の集学的治療を行っています。

■プレストセンター



プレストセンターでは、乳房の症状が気になる方や検診等で乳房の異常を指摘された方を対象に精査、診断および治療を行います。他の外来から少し離れたプレストセンター内には、少しでも患者様の不安や緊張を和らぐよう、ゆったりとしたソファとBGMで落ち着いた雰囲気待合室と診察室を設けております。他科や多職種とも連携し様々な病態の患者様に対応しております。

■ER(救急室)



京都府下唯一のベッド数40床、800坪のERを有します。ハイブリットERを有しており重症の患者さんが移動なしで透視、CT検査、血管造影、手術が出来ます。年間1200件使用されており、骨盤骨折の緊急血管塞栓術年間50例、開胸、開腹、穿頭手術が各数例ずつ施行されています。

■緩和ケア

緩和ケアは「苦痛のある患者、家族に対しての疾患の早期より全人的ケアをする」と言われています。当院ではがんの治療中でも「苦痛症状」があれば緩和ケア科が関わりたいと思っております。終末期として「死の受容」を目指したケアも行っています。

■パースセンター



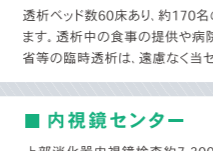
地域周産期母子医療センターに指定されています。24時間産婦人科医、小児科医がいて安心です。産科の入院室はホテル仕様でできます。You tubeなど見られるインターネットテレビがあります。新生児のおやれな記念写真プレゼントがあります。食事も配慮しています。23年1月より出産費用は43万円からになりました。(入院日数等で多少変化します。)

■血液内科 無菌病棟 18床



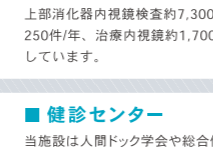
病棟全体が、廊下も無菌空間となっています。高度無菌治療室(クラス100)は、無顆粒球状態が2~3週間続く造血幹細胞移植(骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植)患者や血液疾患の化学療法後などで長期にわたる高度な好中球減少状態の患者が適応となり、感染症のリスクを軽減するために使用されます。

■透析センター



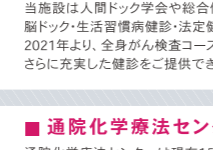
透析ベッド数60床あり、約170名の慢性維持透析を施行しています。月・金は、夜間透析を行っています。透析中の食事の提供や病院までの送迎に対応しています。センターの見学も歓迎します。旅行・帰省等の臨時透析は、速速な当センターまでご連絡下さい。

■内視鏡センター



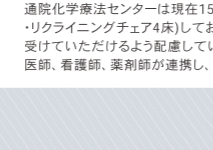
上部消化器内視鏡検査約7,300件/年、下部消化器内視鏡検査約2,800件/年、気管支内視鏡検査約250件/年、治療内視鏡約1,700件/年行っています。緊急内視鏡検査、内視鏡止血は24時間施行しています。

■健診センター



当施設は人間ドック学会や総合健診医学会の優良施設及び指導施設の認定を受けており、人間ドック・脳ドック・生活習慣病健診・法定健診・特定健診・各種がん検診などを行っています。2021年より、全身がん検査コース・全身+乳がん検査コース、2024年より無痛MRI乳がん検診が加わり、さらに充実した健診をご提供できるようになりました。(PET-CT、マンモPET-CT)

■通院化学療法センター



通院化学療法センターは現在15床で稼働しています。皆様より要望の多いベッドを多く配置(ベッド:11床・リクライニングチェア4床)しており、明るく室内には優しいBGMが流れ、ゆったりとした気持ちで治療が受けたいだけできるよう配慮しています。治療は予約制となっており、安全・確実に治療が実施できるよう、医師、看護師、薬剤師が連携し、治療中には管理栄養士からの支援も受けられます。

各種指定

高度救命救急センター

高度救命救急センターとは、救命救急センターのうち特に高度な診療機能を提供するものとして厚生労働大臣が定めるものであり、広範囲熱傷や四肢切断、急性中毒等の特殊疾患患者に対する救急医療が24時間体制で提供されます。救命救急センターは全国に304病院指定されています。その中で高度救命救急センターは、2024年1月時点、全国で50病院が指定されています。33病院は大学病院で、都道府県立病院が8病院、日赤6病院、国立1病院、民間病院は静岡県聖隷三方原病院のみです。2023年の救急の実績ですが、救命救急センター充実度評価はS評価で全国5位、年間救急搬送受入人数は9,303人、重症患者の受入人数は1,941人でした。

地域災害拠点病院

災害拠点病院は、災害対策基本法に基づいて都道府県知事が指定する病院です。大規模地震などの災害時には、重篤な救急患者が多数発生します。こうした事態に対処するため、高度の診療機能を有し、被災地からの重症傷病者の受け入れ機能や広域搬送への対応機能、医療救護団の派遣機能などの機能を有しています。

地域医療支援病院

地域医療支援病院とは、地域医療の中で診療所、クリニックなど、地域の医療機関からご紹介いただく患者さんの外来診療、救急医療体制を整備するなどの役割をもった病院のことです。当院は平成30年12月より府知事承認のもとに地域医療支援病院としてスタートしました。

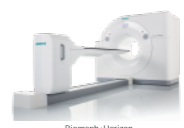
地域がん診療連携拠点病院

2019年4月1日付で、京都市以南の病院で初めて地域がん診療連携拠点病院に指定されました。地域がん診療連携拠点病院とは地域における、がんの治療と連携の中心となる病院です。全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、全国にがん診療連携拠点病院が400箇所指定されています。これらの医療機関においては、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援及び情報提供等が行われます。

地域周産期母子医療センター

地域周産期母子医療センターは産科と新生児科が連携しています。合併症、胎盤異常、早産、多胎や胎児に異常のある症例でも、分娩直後から胎児には新生児科医師による最善の治療が開始されます。NICU(新生児集中治療室)は近隣からの新生児搬送も受け入れ、安全なお産を支えます。

機材紹介



PET-CT
がんの広がり調べられ、がんの早期発見もできる検査です。体に負担の少ない検査の実施を目指しています。PET-CT装置ではカメラの感度を高くすることで短時間撮影を可能にし、最新の撮影技術によって、ノイズの少ない高画質の画像抽出が可能です。



マンモPET-CT
乳がんの早期発見に有用な検査です。乳腺専用PET装置では、他の装置とマンモグラフィ検査のように乳房を圧迫(挟む)することなく検査が行えます。検査台にうつ伏せで寝ていただき、検出部(筒)に片側の乳房を入れて検査します。撮影は片側5分程度。専属の女性技師が撮影します。



OXRAY / True Beam放射線治療装置
新病院移転とともに最新鋭のTrue Beamを導入。さらに2台目としてOXRAYを設置しました。定位放射線治療や強度変調放射線治療など高精度治療を短時間で施行できるようになりました。



ロボット支援手術
da Vinci Xiサージカルシステム
ダヴィンチシステムは、4本のアームでカメラから映し出される3D画像を見ながら患部を手術していく装置です。最大のメリットは細かな作業をこなすことなく確実にこなすことで、この特性を生かして出血などを最小限に抑えることができます。



Hugo RAS System four arms
従来のda Vinci Xiに加えHugoを2023年より導入しました。日本で3番目の導入です。現在ロボット支援手術は泌尿器科、消化器外科で施行されています。



320列マルチスライスCT装置(2台)
東芝社製320列CT Aquilion ONEは従来64chの5倍に相当する、320chのエリアデテックを持ち16cmの範囲を1回転でスキャンすることができます。頭部や心臓などは寝台を動かすことなく1回転1秒以内で検査を終了することができ小児に対しても鎮静をすることなく検査することが可能となります。また短時間撮影により、大幅な被曝量の低減となります。